

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 どもプラス 茅ヶ崎教室

公表日 2025年 1月 31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		法令を遵守したスペースの確保し、十分身体が動かせよう工夫をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9		法令で必要とされる人数を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	建物の構造上バリアフリーには対応できていません。	下半身が不自由な児童に対する手洗いスペースは改善を検討していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		日々の清掃や季節感を意識した壁面の飾りつけなどで居心地の良さを感じられるよう配慮しています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	パーティションを用いて空間を仕切るようにしています	個室の空間をつくことが難しいため個別活動を取り組みやすいスペースづくりを検討していきます
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		日次・月次で職員参加の会議や振り返りを行う機会を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		結果を集計し、会議で振り返り、業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		結果を集計し、会議で振り返り、業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	不明 1	現在は、利用者・社内・相談支援員の三者評価となっています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		オンラインでの研修を取り入れ、職員が参加しやすいよう工夫しています	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		事業所ホームページにて公表しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		定期的に支援会議を行い、計画書を作成。その他、緊急性のある課題については即時対応しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		職員それぞれの目線から感じた児童の支援課題や成長を計画作成に活かしています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		作成した計画を随時職員間で共有しています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		療育センター等で受けた検査結果を保護者に共有してもらい、日々の活動記録と合わせて支援に活かしています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		計画作成時に支援に必要な項目を複数の職員で確認しながら、具体的な支援内容に反映させています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		担当の職員だけではなく、職員間で協力して活動の計画・実施をしています。季節感も意識	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		しながらの活動ができるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		アセスメントに基づき、集団・個別のプログラムを特性に合わせて作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		前回の利用状況や児童の様子などを共有ノートや口頭にて共有しています。当日の送迎や各職員の分担業務は確認しやすい場所に掲示するように努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		支援終了後に必ず振り返りを行い、記録に残し職員間で共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎回利用時には記録を取り、支援内容の改善や検証に反映しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		支援会議にて計画の見直しや必要性を判断し個別支援計画に反映しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		複数を組み合わせて支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	日々の活動の中に児童が選択する場面を設け、自己決定をする練習の場としています	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達管理責任者はじめ、日々児童の状態を把握しているものが支援に携わり会議等に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		関係機関とのこまめな連絡、情報共有につとめています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		ご家庭や学校との連絡を密にしてトラブルの無いよう情報共有をしています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1 不明 1	ご家庭の了解を得た上で、情報共有や理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	ご家庭の了解を得た上で、情報共有や理解に努めています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	研修には積極的に参加出来るよう努めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9		子どもの家など近隣の家への外出や地域サッカークラブとの交流を行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		通所事業所連絡会を通して参加をし、情報共有をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		ご家庭、学校、事業所と連携を取り共通理解を行っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		支援後のフィードバックや面談にて支援方法のアドバイスなど提供できるようにしています。また、ペアレントトレーニングの研修などの積極的に参加し知識習得に努めています。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時の説明と共に、変更があった時には書面にて同意を得ています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		面談等の機会を通して家庭や児童の希望等を聞き取り、活動に活かしています		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		面談時等に計画内容を説明し、同意を得ています		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		支援後のフィードバックや面談にて支援方法のアドバイスなど提供できるようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	保護者参加型レクを通して、保護者同士の交流ができるようにしています。	今年度は保護者参加型イベントを実施できなかったため次年度以降に計画していきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情処理体制に基づき、苦情のあった時には会議を開き、再発防止対策を保護者に提示するとともに、社内でも共有しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		お便りの作成による案内だけでなく、Lineを使って連絡・情報発信を行っています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫に保管し、適切な対応を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		お子さん、保護者の状態に応じて、ICTの活用や視覚的情報を活用して、情報伝達や意思の疎通に配慮を行っています。また、合理的配慮に基づき支援に尽力しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	近隣の店舗に協力をいただいたイベントの開催や地域サッカークラブの選手との交流を行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアルを整備し、年2回の避難訓練の実施をしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		定期的な避難訓練を通して、BCPやマニュアルの見直しを行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		保護者と体調について聞き取りをこまめにおこなっています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		医師による指示書のに基づき、ご家庭から連絡を頂き、施設内で共有し該当物質と接触が起らないよう留意しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全に配慮した機器の設置と点検、研修の実施に努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	契約時や日々の教室での活動を伝える中で非常時の対応等を共有しています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハット事例が起こった時には、ヒヤリハット報告書を作成し職員間で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		マニュアルを整備し、しかるべき研修の参加や情報共有をしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		重要事項説明書や個別支援計画に記載し、やむを得ず行われた時には、身体拘束に関する説明書を作成し、同意を得ています。		